

親 師 会 報

第 155 号

発 行

新潟県立新津高等学校
親 師 会

☎0250(22)1920

会 長 挨 拶

親師会長 清 水 かおり



皆様には、日頃より親師会活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。今年度、親師会長を務めさせていただきます清水です。母校である新津高等学校の親師会活動に身近な立場で参加させていただけることをとても嬉しく思っています。

さて、数年に渡った新型コロナウイルス感染症による制限が昨年度からほぼ解消され、学校での行事などが通常に行われることの喜びをより一層感じられる今年度になることと思います。

ぜひ、保護者の皆様にも可能なかぎり行事等にご参加いただき、学校での教育活動やお子様の様子をご覧いただければと思っています。行事の参加や親師会活動を通して、学校や地域との距離を縮め、情報交換、情報共有の場になることを願っております。

また、同じ高校に通う子どもを持つ保護者として皆様とご縁があったことに感謝し、皆様とともに子ども達の高校生活を充実したものにしていけたらと思っています。

初めての大役であり、不慣れな点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、生徒・保護者・先生方の架け橋となれるよう、役員一同力を合わせて進んでまいります。

今年度も変わらぬご支援とご協力の程、よろしくお願いいたします。

校 長 挨 拶

校長 小 林 英 明



保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。学校行事等は、コロナ禍での制約がなくなってきました。親師会の活動も、子どもたちを応援できるよう、ご協力をお願いいたします。

今春の卒業生の進路状況がまとまりました。進学者の実人数では、国公立大学56名（昨年度55名）、私立大学132名（昨年度137名）でした。卒業生が次のステージで活躍してくれることを期待するとともに、後に続く在校生も粘り強く努力を積み重ねてほしいと思います。

さて、最近では国と県では、アントレプレナーシップ教育やSTEAM教育を重視しています。アントレプレナーシップ教育とは、課題に挑戦するための姿勢と方法を学ぶことです。昔から起業家教育と訳されてきましたが、起業する人に限らず、起業家精神（チャレンジ精神、創造性、探究心等）と起業家的資質・能力（情報収集・分析力、判断力、実行力、リーダーシップ、コミュニケーション力、課題発見・解決力等）を育む教育です。変化の激しい時代に主体性を持って課題に挑む人材を育成していく必要があります。新潟県では、「課題を見つける」「実社会（地域）とつながる」「失敗体験から学ぶ」「社会に新たな価値を提供する」の4つの視点が必要と考えています。本校でも探究学習「Climb Up プラン」にアントレプレナーシップ教育の視点を加えて、充実を図っていききたいと思います。

STEAM教育は、科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、芸術・教養（Art(s)）、数学（Mathematics）の頭文字をとった名称です。文部科学省では、STEMに加え、芸術、文化、生活、経済、法律、政治、倫理等を含めた広い範囲でAを定義し、各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科横断的な学習を推進しています。また、経済産業省が「未来の教室ビジョン」で述べている「学びのSTEAM化」は、一人一人のワクワクする感覚を呼び覚まし、文理を問わず教科知識や専門知識を習得すること（＝「知る」）と、探究・プロジェクト型学習の中で知識に横断を刺し、創造的・論理的に思考し、未知の課題やその解決策を見出すこと（＝「創る」）とが循環する学びを実現することです。本校でも「総合的な探究の時間」を軸にして、各教科においても探究的な学びを実現していききたいと思います。

「三菱みらい育成財団」の200万円の助成が3年目になることに加えて、今年度は文部科学省の「高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）」にも採択され、1000万円の助成を受けられることになりました。ハイスペックPCや理数分野・情報分野の実験器具などを整備するとともに、地域や大学等との連携を推進し、探究的な学びの一層の充実を図っていきます。

結びになりますが、生徒たちのよりよい成長のためには、家庭、学校、地域の密接な連携が重要です。生徒一人一人の学校生活の充実と進路実現のために、職員一同、精一杯取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。

進路指導室より

進路指導主事 小林 穰

○夏休みを前にして

授業が無い夏期休業期間をどのように活用、または過ごすのかは高校生活において生徒にとっても大きな影響を与えます。

学校でも普段の授業では扱わない学習内容の講習、3年生では受験対策となる夏期講習を行います。特進クラスは大学訪問に出かけます。また、普段十分に時間をかけられない総合的な探究の時間に行う探究活動に集中的に取り組む期間として、「探究Week」を設定しています。自分が希望するオープンキャンパスへの参加や部活動の大会、文化部の発表会などもあるでしょう。普段より長い時間での講習を経験したり、自分にとって必要なことのために時間を使えたりするのがこの夏休みです。

○保護者の方からは

いつも勉強しているお子さんがこの夏休みに特別に行くことへの協力をお願いします。オープンキャンパスに出かける、探究活動のために町内から出て少し遠くの施設に調査に出かけるなどのサポートをしていただくと生徒の活動の様子もわかってよいと思います。ぜひ、お子様の学習活動や進路実現のための積極的な取り組みができるように応援をお願いします。

さらに保護者の方からはこの期間に保護者面談で来校していただくことになります。今年度配付しました「進路の手引き<保護者版>」を事前にお読みになると同時に、これまでにお子さんに配られた大学進学に関するパンフレットなどに目を通していただいて、お子さんと進路についての話をしてから面談に来ていただきたいと思います。

お子さんと話をする際には、本人の意思を尊重する話し方で本人の気持ちを聞き出してみてください。「私はこどもがやりたいようにさせます」といいながら、いざ希望の大学名を伝えると「こっちのほうがいいんじゃない?」と親の意見を前に出してしまうことがあります。ぜひ生徒が言った進路について、「なぜその仕事に就きたいのか」「その大学の良いところは何か」「その学問を学んでどんなことをしてみたいのか」といった問いかけをすることで、お子さんが思う「やりたい」を言葉にしてあげてください。それができたら、その「気持ち」を応援してあげてください。

○自分で決める人生

生徒の学習への取り組み状況を見ていると、学習に取り組めない原因を自分以外に起因させる生徒が見受けられます。「親戚で○○大学を出た人がこの大学が良いと言うんです」「親の知り合いがこの学部の方が仕事があるって言うんです」などと周囲の人から聞いた言葉をそのまま素直に聞き入れてしまう生徒も多くいます。本人が十分にその大学を理解し、魅力を感じて進学意欲を高めないと、うまくいかないときの言い訳として「だって人に言われたから」という逃げのための口実にしてしまうことがあります。自分の目で見て判断した結果に責任を持って行動できるようになって欲しいと思います。

保護者の方が言う「ここがいいんじゃない?」と一見控え

目な提案のような言い方も、子供たちは素直に親の言うことを聞いてくれます。保護者の方からは「なぜそこに行きたいのか」という問いかけを多くして欲しいと思います。その結果本人の意思がまだ固まらないようならば、面談時に担任にお知らせください。学校でも進路を考えるきっかけとなるようにホームルーム活動の中でさまざまな取り組みを行っております。ぜひ時間のある夏休みを使ってお子さんの将来に対する意思を聞き出してみてください。

○先を見据える

「うちの子は1年生だから進路はまだ考えることができません」と思う方もいるでしょう。しかし、先の目標を掲げることは大切です。スポーツ界で活躍する選手の多くはイチロー選手をはじめとしてみなさん小学生の時から、「メジャーリーグでプレーする」、「オリンピック選手になる」、「ワールドカップで得点をする」など具体的にイメージできる目標を持っていました。

具体性を見つけ出すきっかけのひとつにオープンキャンパスがあります。この春の卒業生は入学年度からコロナの影響のため、リアル開催のオープンキャンパスを体験できず、「大学で学ぶことの魅力」について実感する機会が少なかったため、大学進学への意欲を高めることに苦勞しました。生徒が進学先を決めた理由のトップに挙げられるなかに、オープンキャンパスで実際に大学のキャンパスを歩き、大学生との対話をし、実験室の様子を見ることなどを体験して、大学へ行きたい気持ちが高まったということがあります。

3年生にとってオープンキャンパスへの参加は自分の志望大学に対する「入りたい」、「ここで学びたい」というモチベーションを高めるきっかけとなるでしょう。また現実的な話題としては、私立大学の多くは、オープンキャンパスに来てもらい大学の良さを知ってほしいために来場「特典」を用意しています。なかには受験料、入学金の減額、総合型入試対策講座など、直接受験に活かすことができるメリットもあります。

○総合的な探究の時間

今年の1年生はデータ分析を活用した探究活動、2年生は大学との連携により、大学の先生からの専門的な探究活動へのアドバイスを受けて活動を進める予定です。新津高校は探究活動を通して、自ら主体的に考える力と、課題に対してさまざまな切り口から考える力を醸成しています。

探究活動を通して、大学が提示する課題に対して意見論述する、自分の考えを発表するなどの力を身につける生徒が増えてきています。こうした力を1年時から訓練することで、3年時の受験における総合型選抜や、学校推薦型選抜に対応する力もついてきています。

ただし、志望する大学で「学びたい」という気持ちについてはオープンキャンパスなどを活用して大学について知ること、そして自分がその大学にふさわしい人物なのかを自己分析する力も必要となってきます。そのためにもこの夏休みをうまく活用してほしいと思います。

編集後記

4月8日(月)、新任の教職員の方々と新入生を迎え、令和6年度の新津高校がスタートしました。4月、5月と慌ただしく過ぎ去り6月5日(水)、待ちに待った体育祭の日を迎えました。真夏かと錯覚してしまうような新津特有の酷暑の中、競技や応援合戦の場面でエネルギーに躍動する生徒の姿に大いに感動し、刺激をもらいました。当日は多くの保護者の皆様にご来校、ご観覧いただき、生徒にとっても思い出深い一日になったことと思います。この場をお借りして感謝申し上げます。

原稿をお寄せ頂いた方々、撮影に協力して頂いた方々、誠にありがとうございました。この会報がご家庭での会話の話題や、会員相互の交流が深まる契機になれば幸いです。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。